



**子どものためのコミュニティ主体型
ノンフォーマル教育プロジェクト
(CASP Community-based
Alternative School Project)
7年次帰国報告会**

**2009年10月23日
JICA本部**



CASPの背景と活動結果





子どものためのコミュニティ主体型 ノンフォーマル教育プロジェクト(CASP)

-プロジェクトの意味-

- 20万人の社会的不利益な立場の子どもたちの教育機会を広げるために代替型学校教育プログラム *Alternative Schooling Program, ASP*が必要

(ノンフォーマル教育はより柔軟で費用効果が高い)

- ASPは必要であるがなかなかうまく作動しない
→CASPによる改善モデルの検討

子どものためのコミュニティ主体型 ノンフォーマル教育プロジェクト(CASP)

-プロジェクトの意味-

4つの改善点

1. 現場ニーズの把握 → 効果的なリソースの分配
2. 教育投入の改善 → ASPのサービスの質の改善
3. コミュニティ活性化 → 社会的に不利な立場にいる子どもたちにとって教育を継続的に受けるためにはコミュニティの助けが必要
4. ネットワークの改善 → ASPの予算・関係リソースの有効・効果的な利用



効果的な代替教育 ASP (SOP/FSP)の確立



継続的な「万人のための教育」

子どものためのコミュニティ主体型 ノンフォーマル教育プロジェクト(CASP)

-プロジェクトの経過-

改善アイデアをパイロット活動で試行
Dhading/Siraha/Kathmandu郡で 2004-2009年

“ASPガイドライン”の作成(パイロット活動のまとめ) 2008-2009年

地方自治体との共有ワークショップ Dhading/Kathmandu郡 2009年

地方開発省・教育省との政策レベルでの話し合い
ASP ガイドラインの普及の合意

CASP最終セミナー

子どものためのコミュニティ主体型 ノンフォーマル教育プロジェクト(CASP)

—プロジェクトの成果—

提案したASP改善モデルの効果は実証

終了時評価では

- **妥当性、有効性**については高い評価
- **インパクト**でもコミュニティ活性化とマザースクールベースのモニタリングなどモデルはASP政策に取り込まれたこと、開発パートナーにも評価を得ていること、ファシリテーター（ノンフォーマル教育の先生役）の支援手引き書が全国の研修に使われていることなどが挙げられた
- **効率性と自立発展性**では厳しめの評価となっているのは、コミュニティ活性化を含む現場・需要側が啓発されて機能していくことに対して、普及を含めた供給側、行政の組織制度強化やネットワークが、普及に向けまだ十分に成熟していないことに起因

改善されたASPのモデル普及の検討・地方開発省と教育省の協調による普及に向けての制度化へ



代替教育の普及に向けて - CASPの経験から -

「ASPガイドライン」の普及のために

CASPパイロット活動の中でもっとも必要とされる活動

- コミュニティの活性化
- 子どもクラブ
- 教育ボランティアのシステム
- ファシリテーターへの追加研修
- マザースクールをベースにしたモニタリング
- 関係者の定例会による話し合い

普及への道筋

- ASPガイドラインの特徴は→現場での実践を尊重し「何をやるか」だけではなく「どうやるか」の記載
- ASPガイドラインのなかで地方開発省と教育省の協調の確認
- 地方開発省と教育省の役割分担の明確化



ASPにおける地方開発省の関係機関の役割

- VDC(行政村)・コミュニティレベルでのニーズの把握や実施計画の設定/教室設置の決定
- リソースの調整や資金供与 (地域の学校や学校関係者、NGO/CBO関係者の連携)
- VDC予算の20%は社会セクターに使う規定(しかし地域のニーズに合わせる)
- モニタリング (学校に行けていない子どもたちの状況など)
- 記録や上位機関(郡レベル、中央レベル)への報告

ASPにおける教育省の関係機関の役割

- 教育普及に向けてのリソースセンターや正規学校・技術サポート
- 教育予算(コアとなる予算)の割り当て



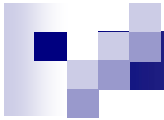
CASPよりの予算分担の提案

- 
- 教育省“コア予算”(ASP-使い方の決まっている予算)
 - 地方開発省関係機関からの補助予算(地域のニーズに合わせた柔軟な予算体系)

CASPの最終セミナーにて合意！

CASPの経験からの提言

- ASPの計画はVDCの年間計画に効率よく反映するようにVDCや教育計画のシステムを整える(村レベル、郡レベルから中央レベルの教育計画へ)小学校運営改善支援プロジェクトSISMでのフォロー
- 普及に向けてネットワーキングの推進を含むキャパシティ・デベロップメントの促進
- 学校に行けていない子どもたちへの関心を高める活動・広報からリソースの確保
- 公選役員の不在でVDCが機能していない中、難しくはあるが社会的に不利益な立場にいる子どもたち対象の代替教育においてVDCのより大きな関与は必須(万人のための教育EFAは開発のプロセスとともに目標である)



CASPの経験がネパールの子どもたちによりよい教育機会を与えることを祈って

ありがとうございました